

原発事故時の避難計画に関する質問・要望書

大飯・高浜原発でも神戸製鋼の製品が使用されています
検査データ改ざんの疑いがあるため、再稼働は許されません

避難計画に実効性はなく、住民や避難先の安全は確保されていません
大飯原発3・4号の再稼働に反対を表明してください

太子町長 服部 千秋 様

2017年12月12日 避難計画を案ずる関西連絡会

「安心して暮らせるまちづくり」をめざして日々尽力され、ありがとうございます。

福島第一原発事故からまもなく7年になろうとしていますが、いまなお事故の収束の見通しはたたず、汚染水や放射性物質の漏れが続いています。そのうえ約6万人もの方々が我が家に帰ることもできず、不安な日々を過ごされています。「原子力緊急事態宣言」は発令されたままです。

このような状況にもかかわらず、関西電力と国は、高浜原発に続き、大飯原発3・4号を来年3月、5月にも再稼働しようとしています。しかし、神戸製鋼の検査データ改ざんが発覚し、社会的に大きな問題となっています。大飯原発と高浜原発でも神戸製鋼の製品が使われていることが明らかになりました。関西電力は現在、「検査プロセスが自動化されている」「複数人で確認されている」ことを理由に、問題はないとしています。しかし、神戸製鋼自身が「会社ぐるみ」で検査データを改ざんしていたことを認めているのですから、「複数人で確認」しても、問題なしの理由にはなりません。ただでさえ危険な原発で、検査データが改ざんされた製品が使われるなどあってはならないことです。原発の重要部分や格納容器材料でも神戸製鋼製が使われており、疑いが晴れない限りは、再稼働などありえません。

私たちは11月24日から26日にかけて、避難元の綾部市中上林地区を個別訪問し、原発事故、避難計画への不安や疑問など生の意見を伺って来ました。10月の住民説明会は出席者が区長等に限られ、避難計画についても知らされていませんでした。避難道路の府道1号線は台風等の自然災害で土砂崩れなどが発生し、避難はとても困難だとの声も聴きました。1号線の拡張工事はほんの一部に限られ、福井からの避難道路にもなっており、計画段階から大渋滞が予想されます。再稼働が優先され、住民の安全や避難計画の問題点は置き去りにされたままです。

ご承知のように、2014年5月21日に福井地方裁判所は、「大飯原発を運転してはならない」との判決を出しました。福島原発事故の被害の甚大さ、住民の苦悩を正面から受け止めた判決です。判決は、関西電力の地震想定や事故対策を厳しく批判し、大事故を防ぐことはできないと判断しています。さらに大事故が起これば、半径250kmまで被害がおよぶと認定しています。

2014年4月24日に兵庫県から『放射性物質拡散シミュレーション(県内全域)の結果について』が公表されました。太子町庁舎は、高浜原発から約114km、大飯原発から約125kmしか離れていません。太子町の甲状腺等価線量の最大値(高浜・37.1mSv、大飯・55.7mSv)は乳児・幼児・妊産

婦等にとっては、危険な数値です。井戸知事は2014年2月27日の定例議会で、高浜原発で事故が起こった場合、プルームの「最短到達時間は、神戸、篠山とも約2時間」（議事録）と答弁しています。

2014年3月27日に 関西広域連合から『原子力災害に係る広域避難ガイドライン』が公表され、綾部市は2017年3月に「綾部市原子力災害住民避難計画」を改訂しました。これらに従い、綾部市中上林地区1257名が太子町に広域避難することになりました。

上記の内容をふまえ、以下の質問と要望を提出いたします。12月12日に、文書回答をお願いいたします。

【質問事項】

1. 避難元の綾部市との連絡・協議などについて

(1) 綾部市との連絡・協議はなされていますか。(いつ、どのようなかたちで、どの辺りまで)

2. 太子町が被ばく・被災した場合について

兵庫県が公開したシミュレーションでは、太子町でも被ばくが予想されます(甲状腺等価線量の最大値、高浜・37.1mSv、大飯・55.7mSv)。

(1) 太子町は、町域が被ばく・被災の可能性がある場合に、避難受入(綾部市1257人)はできるのですか。

(2) この点について、綾部市と話し合いはされていますか。

3. 要援護者の受け入れについて

(1) 避難されてくる要援護者110人の各避難所別の人数などは把握されていますか。

(2) 要援護者への配慮や福祉避難所等での受け入れについて具体化できていますか。

4. 避難所等について

(1) 避難所の共有スペースを除く一人あたり専有面積はいくらですか。

(国連難民高等弁務官事務所は難民一人の専有面積を最低3.5平方メートルとしている)

(2) 各避難所の、福祉エリアや家庭動物(ペット等)エリアは決まっていますか。

(3) 綾部市民1257人を受け入れる避難所の体制は整っていますか。現在閉鎖中の「中央公民館」は代替施設を検討されていますか(別紙参照)。

5. 汚染検査(スクリーニング)と除染の省略等について

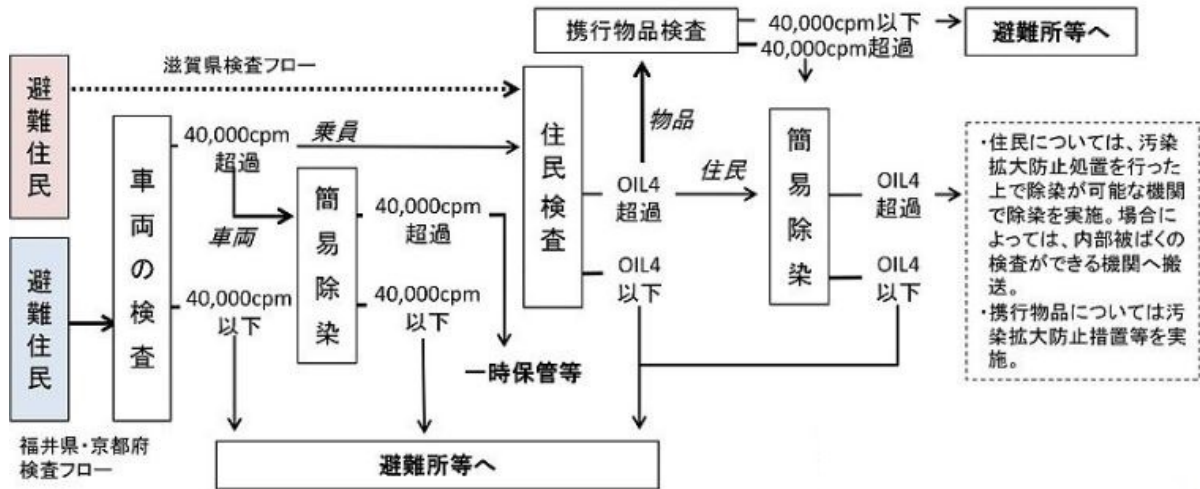
規制庁の指導によって関西広域連合は、汚染検査(スクリーニング)や除染の「効率化」と称して下記のような方策を示しています。(『原子力災害に係る広域避難ガイドライン』関西広域連合2014年3月27日21頁)。

- 放射能放出前に避難した場合は、汚染検査を省略することができる。
- 車両の汚染が基準値^{*1}以下の場合、人の汚染検査は省略。除染は車両も人もなし。

^{*1} 基準値はOIL4に基づき表面汚染密度120 Bq/cm² (40,000cpm)。

福島原発事故翌日は40Bq/cm² (13,000cpm : 小児の甲状腺等価線量100mSvに相当)

- 車両の汚染が基準値以上の場合は、(バスや乗用車の)乗員の中で「同様の避難行動をとった集団ごとに代表者」のみに汚染検査を行う。
代表者の汚染が基準値以下の場合、集団全員を同様とみなす。除染は車両のみ。



▲「大飯地域の近畿有事対応(全体版)」p.141 内閣府 平成29年10月25日

(1) このような汚染検査や除染の省略等では、避難する個々人の早期被ばくの確認もできず安全を守ることができません。また汚染の拡大防止もできません。これらを考慮すれば、汚染検査・除染の省略等は認められないのではないですか。

(2) 他方、滋賀県は住民全員の検査を実施し、その結果も住民に手渡すことになっています。避難する住民の安全と、避難先である太子町への汚染拡大を防ぐために、綾部市に全員の検査等を求めるべきではないですか。

6. 汚染検査の基準 120 Bq/cm^2 ($40,000 \text{ cpm}$) について

- この値は小児の甲状腺等価線量 300 mSv に相当し、安定ヨウ素剤服用基準 50 mSv の6倍です。
- また、法令^{*2}で定められている「放射線管理区域外に物を持ち出す基準」 4 Bq/cm^2 以下の30倍です。

(1) このような基準では、避難する子どもや住民の汚染・被ばくの早期発見と安全確保、及び避難先である太子町への汚染拡大を防止することができないのではないですか。

7. スクリーニング資機材等について

規制庁は、2014年6月9日、各避難所でスクリーニングを実施する必要性について検討し、『原子力災害時に避難する住民等のために地方公共団体が行う汚染検査・除染について』を出し、2015年3月31日に『原子力災害における避難退域時検査及び簡易除染マニュアル』を作成しました。

(1) 原子力災害での混乱時には、綾部市からの自主避難者等による直接乗り入れも想定されます。太子町として、放射能線量計、防護マスク、防護服等の準備を考えていますか。

^{*2} 電離放射線障害防止規則 3条・31条・32条など
<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S47/S47F04101000041.html>

8. 兵庫県のシミュレーション等について

兵庫県は、2014年4月24日に新シミュレーションを公表しましたが、ブルーム到達時間の予測や避難時間推計は未公開です。これらは防災・避難計画の基礎的データです。

- (1) 太子町にブルームが到達する最短時間は何時間になるのか、兵庫県に確認されていますか。
- (2) 綾部市から太子町まで避難に要する避難時間推計を把握されていますか。
- (3) 兵庫県のシミュレーションを受けて、篠山市では他市町に先駆け、原発過酷事故時の対策として安定ヨウ素剤の備蓄・事前配布を実施しています。太子町では、安定ヨウ素剤の備蓄・配布は検討されていますか。

【要望事項】

1. 関西広域連合や規制庁が進める汚染検査・除染の省略では、住民の安全を守ることはできず、避難先への汚染拡大を防止することもできません。そのため、汚染検査・除染の省略等に反対を表明してください。そのことを綾部市に求めてください。
2. 太子町が被ばく・被災する場合は、避難受け入れはできないと表明してください。
3. 現状の避難計画では、避難道路の寸断による混乱の不安と、混乱のまま避難受け入れをすることになる太子町への放射能汚染の拡散などが懸念されます。住民の命と安全を守ることができない避難計画ができない状況のままでは、大飯原発3・4号の再稼働は認められないと表明してください。
4. 大飯原発と高浜原発でも、神戸製鋼の製品が使われています。これらの製品でも検査データが改ざんされた可能性があり、疑いは晴れていません。そのため、再稼働は認められないと表明してください。

2017年12月12日

避難計画を案ずる関西連絡会

(連絡先団体：グリーン・アクション/原発なしで暮らしたい丹波の会/

脱原発はりまアクション/原発防災を考える兵庫の会/美浜の会)

この件の連絡先：原発なしで暮らしたい丹波の会 090-3862-3468

